

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市庁舎議会棟便所改修工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市東桜町 3 番 5 号に位置し、福山市道に三之丸東桜町 1 号線、西町東桜町幹線及び国道 2 号線に接しています。

本施設は、工事期間中も通常通り業務を行っています。

2 別途工事

電気設備工事、給排水衛生設備工事

3 留意事項

【共通事項】

- (1) 工事に当たっては、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、職員、関係者及び第三者に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事期間中も本施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、関係者及び第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。
- (3) 工事車両等の乗り入れ及び駐車位置は、監督員及び施設管理者と事前に協議を行ってください。
- (4) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。
- (5) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (6) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (7) 実施工程表は、契約後 1 4 日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (8) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (9) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (10) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
- (11) 工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
- (12) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (13) 受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

【特記事項】

- (1) 2階及び3階男子便所は同時に工事を行うことはできません。また、9月定例市議会及び12月定例市議会が開催される期間中は、工事を行うことができません。
- (2) 工事期間は以下の通りとします。
 - ア 2階便所は10月中旬から11月末までに工事を完成させて下さい。
 - イ 3階便所は1月から2月中旬までに工事を完成させて下さい。
- (3) 音の出る作業については、庁舎閉庁日に行ってください。
- (4) 施設内の作業動線には適切な養生を行ってください。

福山市庁舎議会棟便所改修工事

図 面 リ ス ト	
番号	図 面 名 称
A-00	表紙・図面リスト
A-01	建築工事 特記仕様書No. 1
A-02	建築工事 特記仕様書No. 2
A-03	建築工事 特記仕様書No. 3
A-04	建築工事 特記仕様書No. 4
A-05	付近見取図・配置図
A-06	2階平面図
A-07	3階平面図
A-08	議会棟2階男子便所 平面詳細図
A-09	議会棟3階男子便所 平面詳細図
A-10	議会棟2階男子便所 展開図
A-11	議会棟3階男子便所 展開図

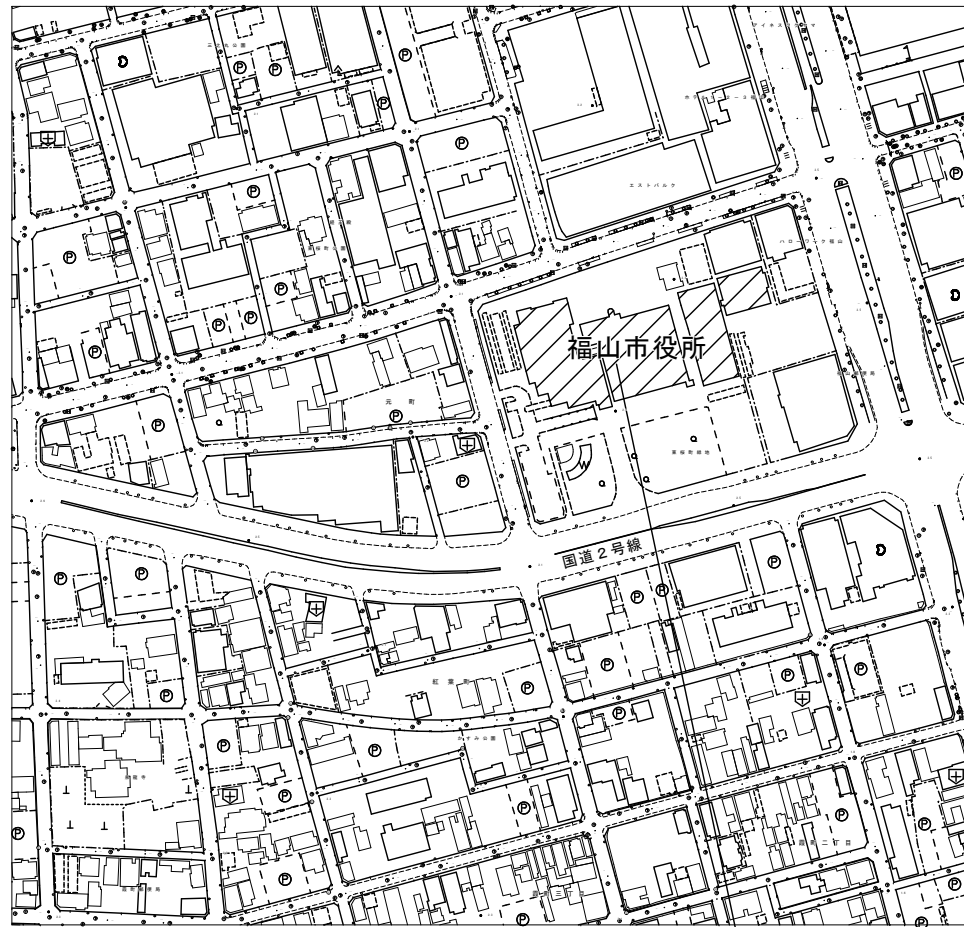
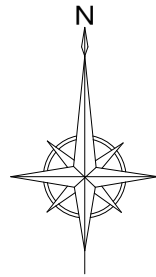
福山市建設局建築部営繕課 主務 係注 2025年 8月					
課長補佐	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

[illegible]

章	項	特記事項	章	項	特記事項	章	項	特記事項	章	項	特記事項																																																																																																																																																															
7	シーリング用材料 (9.7.2)	(表9.7.1) JIS A5758 <table><tr><td rowspan="5">金 属</td><td colspan="2">被 着 体 の 組 合 せ</td><td colspan="2">シーリング材の種類</td></tr><tr><td></td><td></td><td>記 号</td><td>主成分による区分</td></tr><tr><td>金 属</td><td></td><td>MS-2</td><td>変 成 シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>コンクリート</td><td></td><td>SR-1</td><td>シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>ガラス</td><td></td><td>MS-2</td><td>変 成 シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>石、タイル</td><td></td><td>MS-2</td><td>変 成 シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>ALC</td><td>仕上げなし</td><td>PU-2</td><td>ポ リ ウ レ タ ン 系</td></tr><tr><td>(注1) 仕上げあり</td><td></td><td>MS-2</td><td>変 成 シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>押出し成形セメント板</td><td></td><td>MS-2</td><td>変 成 シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td rowspan="5">樹脂製建具</td><td colspan="2">コンクリート</td><td>MS-2</td><td>変 成 シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>ガラス</td><td></td><td>SR-1</td><td>シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>石、タイル</td><td></td><td>MS-2</td><td>変 成 シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>ALC</td><td>仕上げなし</td><td>MS-2</td><td>変 成 シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>(注1) 仕上げあり</td><td>PU-2</td><td>ポ リ ウ レ タ ン 系</td></tr><tr><td>ガラス</td><td></td><td>MS-2</td><td>変 成 シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>石</td><td></td><td>SR-1</td><td>シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>コンクリート</td><td></td><td>PS-2</td><td>ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系</td></tr><tr><td>打継目地</td><td>仕上げなし</td><td>PS-2</td><td>ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系</td></tr><tr><td>ひび割れ</td><td>仕上げあり</td><td>PU-2</td><td>ポ リ ウ レ タ ン 系</td></tr><tr><td>誘発目地</td><td>(注1)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>石、タイル</td><td></td><td>PS-2</td><td>ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系</td></tr><tr><td>ALC</td><td>仕上げなし</td><td>MS-2</td><td>変 成 シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>(注1) 仕上げあり</td><td></td><td>PU-2</td><td>ポ リ ウ レ タ ン 系</td></tr><tr><td>押出し成形セメント板</td><td>(注1) 仕上げなし</td><td>MS-2</td><td>変 成 シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>ALC</td><td>(注1) 仕上げなし</td><td>PU-2</td><td>ポ リ ウ レ タ ン 系</td></tr><tr><td>押出し成形セメント板</td><td>(注1) 仕上げあり</td><td>MS-2</td><td>変 成 シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>水回り</td><td>浴室、浴槽、キッチン、キャビネット回り</td><td>SR-1</td><td>シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>洗面、化粧台回り</td><td>(注2)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>トイレ</td><td>笠木・タシマ 立上り壁周囲</td><td>MS-2</td><td>変 成 シ リ コ ー ン 系</td></tr><tr><td>タイル</td><td>タイル (伸縮調整目地)</td><td>PS-2</td><td>ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系</td></tr><tr><td>アルミニウム製建具等の工場シール</td><td>(注4)</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="4">(注) 1. 「仕上げあり」とは、シーリング材表面に仕上塗材、吹付け又は塗装等を行う場合を示す。なお、仕上げを行わない場合は特記による。 2. 被着体がALCパネルの場合に用いるシーリング材は、JIS A 1439 (建築用シーリング材の試験方法) に基づく養生後の引張接着性試験における50%引張応力が0.2N/mm²以下の製品を使用する。 3. 防かびタイプの1成分形シリコン系とする。 4. 現場施工のシーリング材と打継が発生する場合の工場シーリング材を示す。 5. 異種シーリング材が接する場合は、監督員と協議する。 6. 外壁壁タイル接着剤張りにおける伸縮調整目地は、11.3.4(4)による。</td></tr></table> <tr><td>8</td><td>シーリング材の試験 (9.7.5)</td><td>接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (9.7.5)</td></tr> <tr><td rowspan="10">10</td><td rowspan="10">天然石 (10.2.1～2)</td><td>石材の品質 床 ※2等品 ・ その他 ※1等品 ・</td></tr> <tr><td>石材の種類及び表面仕上げ (10.2.1) (10.2.2)</td></tr> <tr><td>施工箇所 種類・産地・名称 厚さ 仕上げの種類 工 法</td></tr> <tr><td>・</td></tr> <tr><td>・</td></tr> <tr><td>・</td></tr> <tr><td>・</td></tr> <tr><td>・</td></tr> <tr><td>・</td></tr> <tr><td>建築基準法に基づき定められた風速 (M0) 及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分 ※図示による ・適用しない</td></tr> <tr><td>2</td><td>取付け金物 (10.2.2)</td><td>乾式工法用金物形式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 (10.2.2) (表10.2.4)</td></tr> <tr><td>3</td><td>その他の材料 (10.2.3)</td><td>石裏面処理材 () 裏打ち処理材 () ドレンパイプの材質 () 金物固定充填材料 () 浸透性吸水防止剤 ※図示による ・専門工事業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督員に提出する</td></tr> <tr><td rowspan="10">11</td><td rowspan="10">伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)</td><td>外壁の伸縮調整目地 ・図示による ※表11.1.1による。 ※ 下地ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地、構造スリットの位置及び他部材との取合い部には、伸縮調整目地を設ける。</td></tr> <tr><td>打診による確認 ※屋外のタイル張り及び吹抜け部分 ()</td></tr> <tr><td>引張接着試験 ※行う ・行わない</td></tr> <tr><td>タイルの種類 ※標準色 ・特注色 (11.1.2～1.4)</td></tr> <tr><td>役物使用箇所 ※各部の形状は図示による</td></tr> <tr><td>内 装 出隅 天端 (標準一体成型品以外は接着成型品とする)</td></tr> <tr><td>外 装 出隅、窓台、マガサ</td></tr> <tr><td>タイルの試験張り ※行わない ・行う ()</td></tr> <tr><td>タイルの見本焼き ※行わない ・行う ()</td></tr> <tr><td>下地コンクリート素地面 (11.2～3.7)</td></tr> <tr><td>通用タイル 躯体表面 下地モルタル塗り 工 法</td></tr> <tr><td>・小口タイル ・MCR工法 ※ポリマーセメント ※密着工法</td></tr> <tr><td>・二丁掛タイル ・目荒し工法 ・モルタル下塗り ・改良圧着張り</td></tr> <tr><td>(高圧水洗) ・行わない ・接着剤張り</td></tr> <tr><td colspan="2">MCR工法 MCR工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による。 施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。 目荒し工法 高圧水洗による目荒しは、50N/mm²の水圧で2.5分/mm²とし、仕上り面の程度は監督員の承諾を受ける。 施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。 ポリマーセメントモルタルの割合は、15.2.3(4)による。</td></tr>	金 属	被 着 体 の 組 合 せ		シーリング材の種類				記 号	主成分による区分	金 属		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系	コンクリート		SR-1	シ リ コ ー ン 系	ガラス		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系	石、タイル		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系	ALC	仕上げなし	PU-2	ポ リ ウ レ タ ン 系	(注1) 仕上げあり		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系	押出し成形セメント板		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系	樹脂製建具	コンクリート		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系	ガラス		SR-1	シ リ コ ー ン 系	石、タイル		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系	ALC	仕上げなし	MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系	(注1) 仕上げあり	PU-2	ポ リ ウ レ タ ン 系	ガラス		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系	石		SR-1	シ リ コ ー ン 系	コンクリート		PS-2	ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系	打継目地	仕上げなし	PS-2	ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系	ひび割れ	仕上げあり	PU-2	ポ リ ウ レ タ ン 系	誘発目地	(注1)			石、タイル		PS-2	ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系	ALC	仕上げなし	MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系	(注1) 仕上げあり		PU-2	ポ リ ウ レ タ ン 系	押出し成形セメント板	(注1) 仕上げなし	MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系	ALC	(注1) 仕上げなし	PU-2	ポ リ ウ レ タ ン 系	押出し成形セメント板	(注1) 仕上げあり	MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系	水回り	浴室、浴槽、キッチン、キャビネット回り	SR-1	シ リ コ ー ン 系	洗面、化粧台回り	(注2)			トイレ	笠木・タシマ 立上り壁周囲	MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系	タイル	タイル (伸縮調整目地)	PS-2	ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系	アルミニウム製建具等の工場シール	(注4)			(注) 1. 「仕上げあり」とは、シーリング材表面に仕上塗材、吹付け又は塗装等を行う場合を示す。なお、仕上げを行わない場合は特記による。 2. 被着体がALCパネルの場合に用いるシーリング材は、JIS A 1439 (建築用シーリング材の試験方法) に基づく養生後の引張接着性試験における50%引張応力が0.2N/mm ² 以下の製品を使用する。 3. 防かびタイプの1成分形シリコン系とする。 4. 現場施工のシーリング材と打継が発生する場合の工場シーリング材を示す。 5. 異種シーリング材が接する場合は、監督員と協議する。 6. 外壁壁タイル接着剤張りにおける伸縮調整目地は、11.3.4(4)による。				8	シーリング材の試験 (9.7.5)	接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (9.7.5)	10	天然石 (10.2.1～2)	石材の品質 床 ※2等品 ・ その他 ※1等品 ・	石材の種類及び表面仕上げ (10.2.1) (10.2.2)	施工箇所 種類・産地・名称 厚さ 仕上げの種類 工 法	・	・	・	・	・	・	建築基準法に基づき定められた風速 (M0) 及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分 ※図示による ・適用しない	2	取付け金物 (10.2.2)	乾式工法用金物形式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 (10.2.2) (表10.2.4)	3	その他の材料 (10.2.3)	石裏面処理材 () 裏打ち処理材 () ドレンパイプの材質 () 金物固定充填材料 () 浸透性吸水防止剤 ※図示による ・専門工事業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督員に提出する	11	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)	外壁の伸縮調整目地 ・図示による ※表11.1.1による。 ※ 下地ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地、構造スリットの位置及び他部材との取合い部には、伸縮調整目地を設ける。	打診による確認 ※屋外のタイル張り及び吹抜け部分 ()	引張接着試験 ※行う ・行わない	タイルの種類 ※標準色 ・特注色 (11.1.2～1.4)	役物使用箇所 ※各部の形状は図示による	内 装 出隅 天端 (標準一体成型品以外は接着成型品とする)	外 装 出隅、窓台、マガサ	タイルの試験張り ※行わない ・行う ()	タイルの見本焼き ※行わない ・行う ()	下地コンクリート素地面 (11.2～3.7)	通用タイル 躯体表面 下地モルタル塗り 工 法	・小口タイル ・MCR工法 ※ポリマーセメント ※密着工法	・二丁掛タイル ・目荒し工法 ・モルタル下塗り ・改良圧着張り	(高圧水洗) ・行わない ・接着剤張り	MCR工法 MCR工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による。 施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。 目荒し工法 高圧水洗による目荒しは、50N/mm ² の水圧で2.5分/mm ² とし、仕上り面の程度は監督員の承諾を受ける。 施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。 ポリマーセメントモルタルの割合は、15.2.3(4)による。	
				金 属	被 着 体 の 組 合 せ		シーリング材の種類																																																																																																																																																																			
							記 号	主成分による区分																																																																																																																																																																		
					金 属		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																		
					コンクリート		SR-1	シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																		
			ガラス			MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																			
			石、タイル		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																				
			ALC	仕上げなし	PU-2	ポ リ ウ レ タ ン 系																																																																																																																																																																				
			(注1) 仕上げあり		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																				
			押出し成形セメント板		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																				
樹脂製建具	コンクリート		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																						
	ガラス		SR-1	シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																						
	石、タイル		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																						
	ALC	仕上げなし	MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																						
	(注1) 仕上げあり	PU-2	ポ リ ウ レ タ ン 系																																																																																																																																																																							
ガラス		MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																							
石		SR-1	シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																							
コンクリート		PS-2	ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系																																																																																																																																																																							
打継目地	仕上げなし	PS-2	ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系																																																																																																																																																																							
ひび割れ	仕上げあり	PU-2	ポ リ ウ レ タ ン 系																																																																																																																																																																							
誘発目地	(注1)																																																																																																																																																																									
石、タイル		PS-2	ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系																																																																																																																																																																							
ALC	仕上げなし	MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																							
(注1) 仕上げあり		PU-2	ポ リ ウ レ タ ン 系																																																																																																																																																																							
押出し成形セメント板	(注1) 仕上げなし	MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																							
ALC	(注1) 仕上げなし	PU-2	ポ リ ウ レ タ ン 系																																																																																																																																																																							
押出し成形セメント板	(注1) 仕上げあり	MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																							
水回り	浴室、浴槽、キッチン、キャビネット回り	SR-1	シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																							
洗面、化粧台回り	(注2)																																																																																																																																																																									
トイレ	笠木・タシマ 立上り壁周囲	MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系																																																																																																																																																																							
タイル	タイル (伸縮調整目地)	PS-2	ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系																																																																																																																																																																							
アルミニウム製建具等の工場シール	(注4)																																																																																																																																																																									
(注) 1. 「仕上げあり」とは、シーリング材表面に仕上塗材、吹付け又は塗装等を行う場合を示す。なお、仕上げを行わない場合は特記による。 2. 被着体がALCパネルの場合に用いるシーリング材は、JIS A 1439 (建築用シーリング材の試験方法) に基づく養生後の引張接着性試験における50%引張応力が0.2N/mm ² 以下の製品を使用する。 3. 防かびタイプの1成分形シリコン系とする。 4. 現場施工のシーリング材と打継が発生する場合の工場シーリング材を示す。 5. 異種シーリング材が接する場合は、監督員と協議する。 6. 外壁壁タイル接着剤張りにおける伸縮調整目地は、11.3.4(4)による。																																																																																																																																																																										
8	シーリング材の試験 (9.7.5)	接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (9.7.5)																																																																																																																																																																								
10	天然石 (10.2.1～2)	石材の品質 床 ※2等品 ・ その他 ※1等品 ・																																																																																																																																																																								
		石材の種類及び表面仕上げ (10.2.1) (10.2.2)																																																																																																																																																																								
		施工箇所 種類・産地・名称 厚さ 仕上げの種類 工 法																																																																																																																																																																								
		・																																																																																																																																																																								
		・																																																																																																																																																																								
		・																																																																																																																																																																								
		・																																																																																																																																																																								
		・																																																																																																																																																																								
		・																																																																																																																																																																								
		建築基準法に基づき定められた風速 (M0) 及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分 ※図示による ・適用しない																																																																																																																																																																								
2	取付け金物 (10.2.2)	乾式工法用金物形式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 (10.2.2) (表10.2.4)																																																																																																																																																																								
3	その他の材料 (10.2.3)	石裏面処理材 () 裏打ち処理材 () ドレンパイプの材質 () 金物固定充填材料 () 浸透性吸水防止剤 ※図示による ・専門工事業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督員に提出する																																																																																																																																																																								
11	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)	外壁の伸縮調整目地 ・図示による ※表11.1.1による。 ※ 下地ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地、構造スリットの位置及び他部材との取合い部には、伸縮調整目地を設ける。																																																																																																																																																																								
		打診による確認 ※屋外のタイル張り及び吹抜け部分 ()																																																																																																																																																																								
		引張接着試験 ※行う ・行わない																																																																																																																																																																								
		タイルの種類 ※標準色 ・特注色 (11.1.2～1.4)																																																																																																																																																																								
		役物使用箇所 ※各部の形状は図示による																																																																																																																																																																								
		内 装 出隅 天端 (標準一体成型品以外は接着成型品とする)																																																																																																																																																																								
		外 装 出隅、窓台、マガサ																																																																																																																																																																								
		タイルの試験張り ※行わない ・行う ()																																																																																																																																																																								
		タイルの見本焼き ※行わない ・行う ()																																																																																																																																																																								
		下地コンクリート素地面 (11.2～3.7)																																																																																																																																																																								
通用タイル 躯体表面 下地モルタル塗り 工 法																																																																																																																																																																										
・小口タイル ・MCR工法 ※ポリマーセメント ※密着工法																																																																																																																																																																										
・二丁掛タイル ・目荒し工法 ・モルタル下塗り ・改良圧着張り																																																																																																																																																																										
(高圧水洗) ・行わない ・接着剤張り																																																																																																																																																																										
MCR工法 MCR工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による。 施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。 目荒し工法 高圧水洗による目荒しは、50N/mm ² の水圧で2.5分/mm ² とし、仕上り面の程度は監督員の承諾を受ける。 施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。 ポリマーセメントモルタルの割合は、15.2.3(4)による。																																																																																																																																																																										

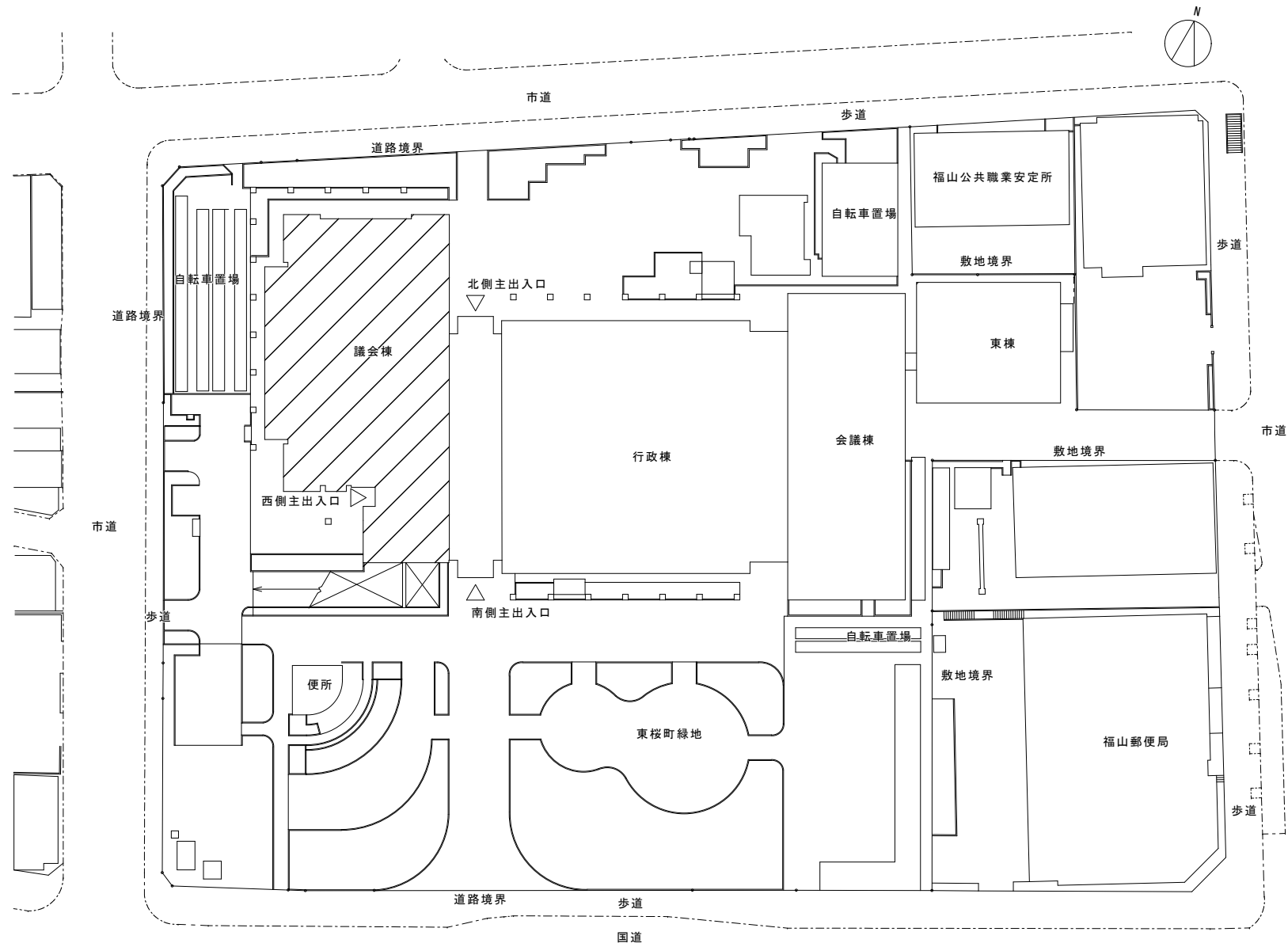
項		特 記 事 項		章	項		特 記 事 項		章	項		特 記 事 項		章	
7	金属成形板張り (14.6.2~3)	種 別		(14.6.2~3)	建 具 工 事	性能項目		耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法	11	自動ドア開閉装置 (16.9.2)	戸の開閉方式 ・ 図示による (16.9.2)	
		製 法	アルミスパンドレル (既製品)			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
8	アルミニウム製笠木 (14.7.2~3)	※押出し形材		(14.7.2~3) (表14.7.1)		種 別		※ S-2	※ A-3	※ W-3	(mm)	12	自閉式上吊り 引戸装置 (16.10.3)	自動ドア開閉装置の場合、標準仕様書表16.9.1による ・ 防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		寸 法 (mm)	板幅 板厚			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
15	ラス系下地 (15.2.4)	※図示による。		(15.2.4)		種 別		※ S-3	※ A-3	※ W-3	(mm)	13	重量シャッター (16.11.2~3)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		形 状	表面 処 理			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
16	せっこうボード、 その他のボード下地 (15.2.5)	※図示による。		(15.2.5)		種 別		※ S-4	※ A-4	※ W-4	(mm)	14	軽量シャッター (16.12.2~4)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
17	こまい下地 (15.2.6)	※図示による。		(15.2.6)		種 別		※ S-5	※ A-5	※ W-5	(mm)	15	ガラス (16.14.2~3)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
18	木ずり下地 (15.2.7)	※図示による。		(15.2.7)		種 別		※ S-6	※ A-6	※ W-6	(mm)	16	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
19	モルタル塗り (15.3.2~5)	※図示による。		(15.3.2~5)		種 別		※ S-7	※ A-7	※ W-7	(mm)	17	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
20	セルフレベリング 材塗り (15.5.2)	※図示による。		(15.5.2)		種 別		※ S-8	※ A-8	※ W-8	(mm)	18	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
21	仕上塗材仕上げ (15.6.2)	※図示による。		(15.6.2)		種 別		※ S-9	※ A-9	※ W-9	(mm)	19	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
22	マステック塗材塗り (15.7.2)	※図示による。		(15.7.2)		種 別		※ S-10	※ A-10	※ W-10	(mm)	20	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
23	しっくい塗り (15.8.2)	※図示による。		(15.8.2)		種 別		※ S-11	※ A-11	※ W-11	(mm)	21	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
24	ロックウール吹付け (15.12.2)	※図示による。		(15.12.2)		種 別		※ S-12	※ A-12	※ W-12	(mm)	22	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
25	防火戸の指定 (16.1.3)	※図示による。		(16.1.3)		種 別		※ S-13	※ A-13	※ W-13	(mm)	23	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
26	見本の製作等 (16.1.4)	※図示による。		(16.1.4)		種 別		※ S-14	※ A-14	※ W-14	(mm)	24	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
27	アルミニウム 製建具 (16.2.2~16.2.5)	※図示による。		(16.2.2~16.2.5)		種 別		※ S-15	※ A-15	※ W-15	(mm)	25	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
28	ラス系下地 (15.2.4)	※図示による。		(15.2.4)		種 別		※ S-16	※ A-16	※ W-16	(mm)	26	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
29	せっこうボード、 その他のボード下地 (15.2.5)	※図示による。		(15.2.5)		種 別		※ S-17	※ A-17	※ W-17	(mm)	27	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
30	こまい下地 (15.2.6)	※図示による。		(15.2.6)		種 別		※ S-18	※ A-18	※ W-18	(mm)	28	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
31	木ずり下地 (15.2.7)	※図示による。		(15.2.7)		種 別		※ S-19	※ A-19	※ W-19	(mm)	29	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
32	モルタル塗り (15.3.2~5)	※図示による。		(15.3.2~5)		種 別		※ S-20	※ A-20	※ W-20	(mm)	30	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
33	セルフレベリング 材塗り (15.5.2)	※図示による。		(15.5.2)		種 別		※ S-21	※ A-21	※ W-21	(mm)	31	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
34	仕上塗材仕上げ (15.6.2)	※図示による。		(15.6.2)		種 別		※ S-22	※ A-22	※ W-22	(mm)	32	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
35	マステック塗材塗り (15.7.2)	※図示による。		(15.7.2)		種 別		※ S-23	※ A-23	※ W-23	(mm)	33	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
36	しっくい塗り (15.8.2)	※図示による。		(15.8.2)		種 別		※ S-24	※ A-24	※ W-24	(mm)	34	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
37	ロックウール吹付け (15.12.2)	※図示による。		(15.12.2)		種 別		※ S-25	※ A-25	※ W-25	(mm)	35	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
38	防火戸の指定 (16.1.3)	※図示による。		(16.1.3)		種 別		※ S-26	※ A-26	※ W-26	(mm)	36	カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.3.2~6)	防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	
		表面 処 理	※図示による			種 別	性能項目							耐風圧性	気密性
39	見本の製作等 (16.1.4)	※図示による。		(16.											

章 項		特 記 事 項				章 項	特 記 事 項				章 項	特 記 事 項				章 項	特 記 事 項				章 項	特 記 事 項																																		
5	フロアリング張り (19. 5. 2～5)	・ 単層フローリング (19. 5. 2～5)				8	壁紙張り (19. 8. 2)	建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの (19. 8. 2)				②	石綿含有建材の除去及び処理	① 施工調査 (6. 1. 3)	目視及び設計図書等により、あらかじめ事前に次の事項について有資格者にて施工調査を行い、調査結果をとりまとめて監督員に提出する。 (1) 使用部位の確認 (2) 種別、厚さ等の確認 (3) 使用数量の確認 (4) 施工範囲と工事管理区分の確認 ・ 石綿含有分析調査 (※ 不要 ・ 必要 (内容は下記による)) ※ 分析方法 JIS A1481-1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による定性分析 ※ 分析必要部屋名等 (※ 図示) 分析必要箇所 (箇所)				5	石綿含有保温材等の除去 (6. 4. 1～6. 4. 5)	1) 処理を行う石綿含有保温材等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による																																			
		種 類 工 法 樹 種 厚 さ (mm) 大 き さ (mm) 仕 上 塗 装 ・ フローリング 1 等 ・ 釘留め工法 (根太張り) ※ なら 15 板幅75以上 板長さ400以上 ・ 塗装品 ・ 釘留め工法 (直張り) ※ なら ・ 12以上 板幅75以上 板長さ400以上 ・ 無塗装品 ・ 接着工法 ※ なら ・ 8以上 板幅75以上 板長さ400以上 ・ 塗装品 ・ 無塗装品 ・ フローリング 1 等 ・ 接着工法 ※ なら ・ 塗装品 ・ 無塗装品 ・ 複合フローリング (19. 5. 2～5) 種 類 工 法 樹 種 厚 さ 等 防 湿 処 理 仕 上 塗 装 ・ 天然木化粧 複合フローリング ・ 釘留め工法 (根太張り) ※ なら ・ 適用する ・ 塗装品 ・ 釘留め工法 (直張り) ※ 図示による ・ 適用しない ・ 無塗装品 ・ 接着工法 フロアリングのホルムアルデヒド放散量等 ※ F☆☆☆☆、接着剤等不使用 (単層フローリングに限る)、ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 (単層フローリングに限る)、非ホルムアルデヒド系接着剤使用並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用とする。 ※ 製造所及び製品名 () 接着工法の場合の不陸緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート ・ (19. 5. 5)						断熱材打込み工法 (19. 9. 3) ・ 断熱材 材 種 種 別 厚 さ 施 工 箇 所 ・ ビーズ法 ポリスチレンフォーム ※ 押出法 ・ 2 種 b ※ 25 ポリスチレンフォーム ・ 3 種 b ・ 20 ・ A 種硬質ウレタンフォーム ・ 硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム ※ フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材補修材 ・ 断熱材と同材 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 断熱材現場発泡工法 (19. 9. 4) 材 種 種 別 厚 さ 施 工 箇 所 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 ※ A 種 1 ・ A 種 1 H 難燃性 ※ 難燃性 ・ 2 級 ※ 3 級						2 石綿粉じん濃度測定 (6. 1. 4)						石綿粉じん濃度測定を行い、記録し監督員に報告する。 ※ 測定方法は、公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) 最新版による。 測定点の取り方 (1) 処理作業前 ・ 処理作業室内 (点) ・ 施工区画周辺又は敷地境界 (点) (2) 処理作業中 ・ 処理作業室内 (点) ※ セキュリティーゾーン入口 (点) … 空気の流れを確認 ※ 負圧・除じん装置の排出口 (点) … 除じん装置の性能確認 ・ 施工区画周辺又は敷地境界 (点) (3) 処理作業後 (離隔シート撤去前) ※ 処理作業室内 (点) ・ 施工区画周辺又は敷地境界 (点)						③ 除去工事共通事項 (6. 2. 1～6. 2. 8)						⑥ 石綿含有成形板の除去 (6. 5. 1～6. 5. 5)																								
6	畳敷き (19. 6. 2)	種別 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 (畳床：) (19. 6. 2) (表19. 6. 1) 防虫処理 防虫加工紙を使用する場合は、業事法の承認を受けたものとする。(A、B、C 種)												4 石綿含有吹付け材の除去 (6. 3. 1～6. 3. 4)	1) 処理を行う石綿含有吹付け材の仕様及び部位 ※ 図面による 石綿含有吹付け材の仕様 使 用 部 位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				7	石綿含有仕上塗材等 (下地調整塗材含む) の除去	1) 処理を行う石綿含有仕上塗材等 (下地調整塗材含む) の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による 石綿含有仕上塗の仕様 使 用 部 位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					せつこうボード その他ボード 及び合板張り (19. 7. 2～3)	※ 天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。 ・ せつこうボード製品 (19. 7. 2) (表19. 7. 5) 材 種・規 格 施 工 箇 所 張 り 方 厚 さ (mm) 等 ○ せつこうボード (JIS A6901) ○ 壁 ○ 下張り ・ 目通し ・ 9. 5 (準不燃) ・ 上張り ○ 突付け ○ 12. 5 (不燃) ・ 直張り ・ 経目処理 ・ ・ 天井 ・ 下張り ・ 目通し ・ 9. 5 (準不燃) ・ 上張り ・ 突付け ・ 12. 5 (不燃) ・ 直張り ・ 経目処理 ・ ・ 化粧せつこうボード (トラバーチン模様) (JIS A6901) ・ 天井 ・ 直張り ・ 突付け ※ 9. 5 (準不燃) ・ 化粧せつこうボード (プリント) (JIS A6901) ・ 天井 ・ 直張り ・ 目通し ・ 9. 5 (準不燃) ・ 吸音用穴あきせつこうボード (JIS A6301) ・ 天井 ・ ・ 目通し ・ 9. 5 (準不燃) ・ 突付け ・ 不燃性原紙裏張り ・ ロックウール化粧吸音板 (JIS A6301) ・ 天井 ・ 上張り ・ 突付け ・ 9 (不燃) ・ 直張り ・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 19 (不燃) ・ 繊維強化セメント板 種 類 施 工 箇 所 張 り 方 厚 さ (mm) ○ けい酸カルシウム板 ・ 普通板 (JIS A5430) ・ 壁 ・ 目通し ・ 6 (不燃) ・ 突付け ・ 8 (不燃) ・ 天井 ・ 突付け V 目地 ・ 10 (不燃) ・ 12 (不燃) ○ 化粧ボード (JIS A5430) ○ 壁 ○ 目通し (シーリング) ・ 6 (不燃) ・ 天井 ・ 突付け ○ ジョイナー ・ その他ボード 種 類 規 格 等 ・ 木質系セメント板 (JIS A5404) ・ ・ ・ 合板 (19. 7. 2～3) 材 料 樹 種 名 処 理 接着の程度、厚さ (mm) 等 ・ 普通合板 ラワン ・ 防虫 類 ・ 5. 5 ・ 12 ・ 15 ・ シナ ・ 防虫 類 ・ 4 ・ ・ ・ 天然木化粧合板 ・ 防虫 類 ・ 合板のホルムアルデヒド放散量等 ※ F☆☆☆☆、非ホルムアルデヒド系接着剤使用 (普通合板及び天然木化粧合板に限る)、非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 (天然木化粧合板に限る) 並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 (特殊加工化粧合板に限る) とする。 合板の張付け ・ A 種 ・ B 種 (19. 7. 3) (表19. 7. 3)						2) 養生等 (6. 4. 2) ① 石綿含有保温材等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて囲う。 ② 作業場の隔離 (・ 行う ※ 行わない) 石綿含有保温材等の除去にあたり、掻き落とし・破砕・切断による方法の場合は、作業場の隔離を行うこと。 3) 作業場の隔離を行う場合は、4 2) を適用する。 除去工法 (6. 4. 3) ※ 粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手ばらし ・ 石綿含有吹き付け材の除去による除去物の処理 (※ 密封処理 (二重袋梱包) ・ セメント固化) 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 (6. 4. 4) 4 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 5) 確認及び後片付け (6. 4. 5) 除去作業が終了後、高性能真空掃除機で床等を清掃し、監督員立会いのうえで、除去が十分行われていることを目視により確認する。						2) 養生等 (6. 5. 1) 石綿含有成形板の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて囲う。 3) 除去工法 (6. 5. 3) ① 原則、散水等により湿潤化した後に手ばらしで行い、やむを得ず破壊しなければならない場合は十分に湿潤化した状態で作業を行う。 ② 除去した石綿含有成形板の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないこと。他、粉じんの飛散防止に努める。 ③ 破砕された石綿含有成形板は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 (6. 5. 3) ① 処分は原型のままとし、処分先は監督員の指示による。 ○ 石綿含有石こうボード ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ○ 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板 (※シーリングもこれに準ずる) ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ② 除去した石綿含有成形板を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物とを分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。 ③ 石綿含有成形板の運搬に当たっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 5) 確認及び後片付け (6. 5. 5) 除去作業が終了後、高性能真空掃除機で床等を清掃し、監督員立会いのうえで、除去が十分行われていることを目視により確認する。						2) 養生等 (6. 3. 1) ① 除去に伴い石綿の作業場から外部への飛散防止及び処理を行わない他の部位への汚染を防止するため、プラスチックシート等を用いて隔離する。 ② 隔離した作業場内は、HEPAフィルターを備えた負圧除じん装置により、常時負圧を保つ ③ 隔離した作業場内への出入りによる石綿粉じんの二次汚染を防止するため、前室、洗浄室及び更衣室の3室で構成するセキュリティーゾーンを設置する。 ④ 更衣室には洗眼又はうがいの設備を設ける。ただし、現場内他の場所にこれら設備を設ける場合はこの限りではない。 ⑤ 洗浄室にはエアシャワー設備又は温水シャワー設備を設ける。 ⑥ 除去物の処理 (6. 3. 2) ※ 密封処理 (二重袋梱包) ・ セメント固化 3) 除去工法 (6. 3. 2) ※ 図面による ・ 共通仕様書による 施工場所 () 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 (6. 3. 3) ① 除去した石綿含有吹き付け材等を撤出するまでの間、現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、石綿等の保管場所であることの表示を行う。当該工事により発生する石綿を含む廃棄物は、下記の処分先を見込んでいる。 処分場所 () 運搬距離 () 受入条件 (※平日受入) ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ② 石綿を廃棄物として排出した時は、その都度、排出量と処理先を監督員に報告するとともに、産業廃棄物管理票 (マニフェスト) の写しを添付した廃棄物処理報告書を提出する。 5) 確認及び後片付け (6. 3. 4) ① 除去作業が終了後、高性能真空掃除機で床等の清掃を行う。 ② 監督員の立会いのうえで、除去及び封じ込め等が十分行われたかを、目視により確認する。 ③ 養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全面に粉じん飛散抑制剤を散布する。 ④ 壁面等の養生用のプラスチックシートの撤去は、負圧除じん装置を十分に吸引・ろ過した時点又は粉じん飛散抑制剤吹付け後、沈降した時点で行う。なお、シートは、取り外して粉じん付着面を内側に折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑤ 養生を行っていない足場、仮設材を清掃した後に解体撤出する。 ⑥ 床養生用プラスチックシートは、粉じん付着面を内側に折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑦ 養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4 2) ⑥) により処理等を行う。 ⑧ 後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。						2) 養生等 (6. 5. 1) 石綿仕上塗材等 (下地調整塗材も含む) の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて囲う。 3) 除去工法 (施工場所： ※ 図示) 「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」に記載の粉じん飛散防止に関し隔離措置と同等の措置と判断できる工法により行う。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 4 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 なお、処分先については、監督員の指示による。 ・ 埋立処分 (・ 安定型最終処分場 ・ 管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 5) 確認及び後片付け 除去作業が終了後、高性能真空掃除機で床等を清掃し、監督員立会いのうえで、除去が十分行われていることを目視により確認する。					



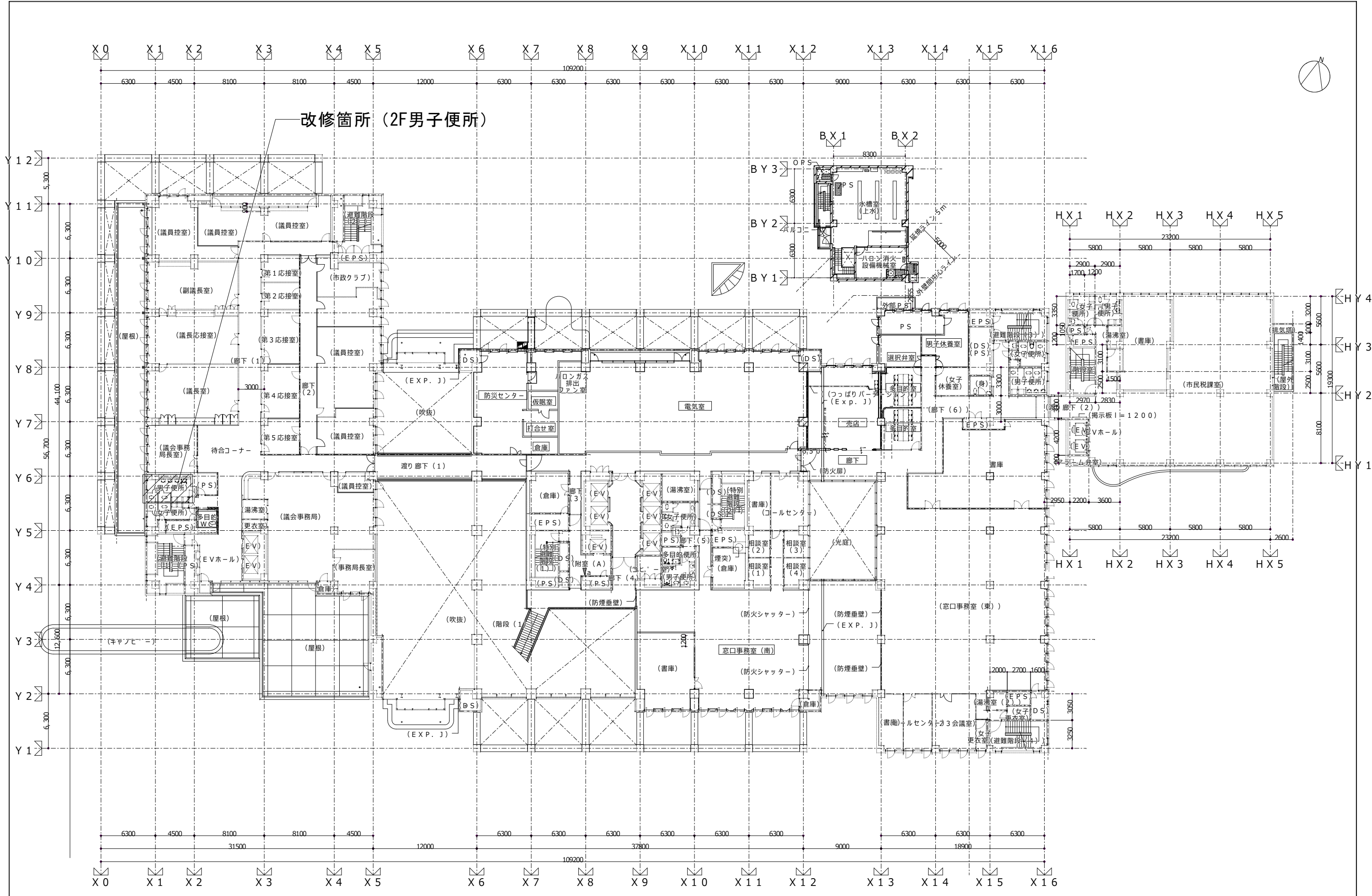
付近見取図 NonScale

福山市役所庁舎
福山市東桜町3番5号

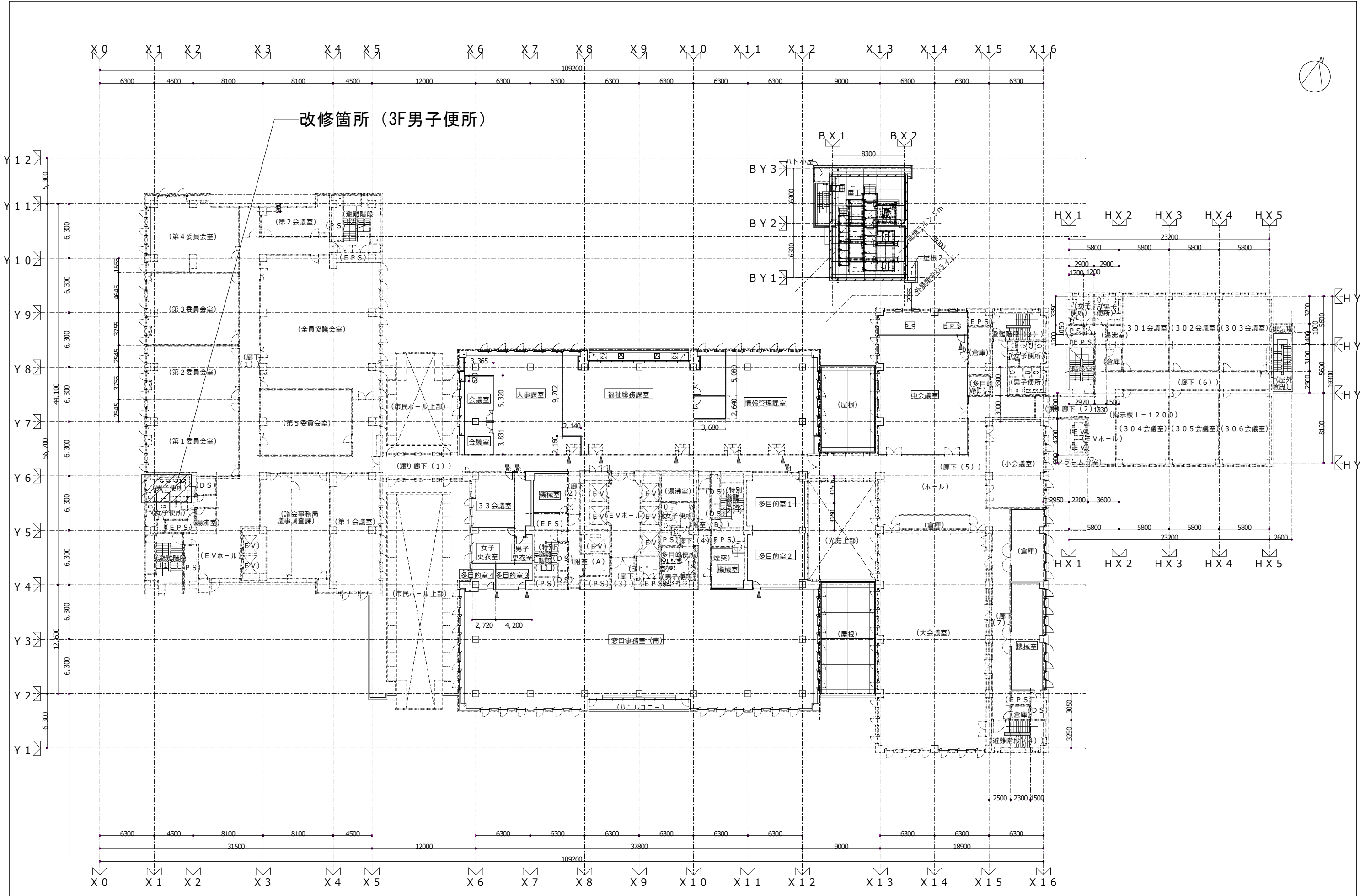


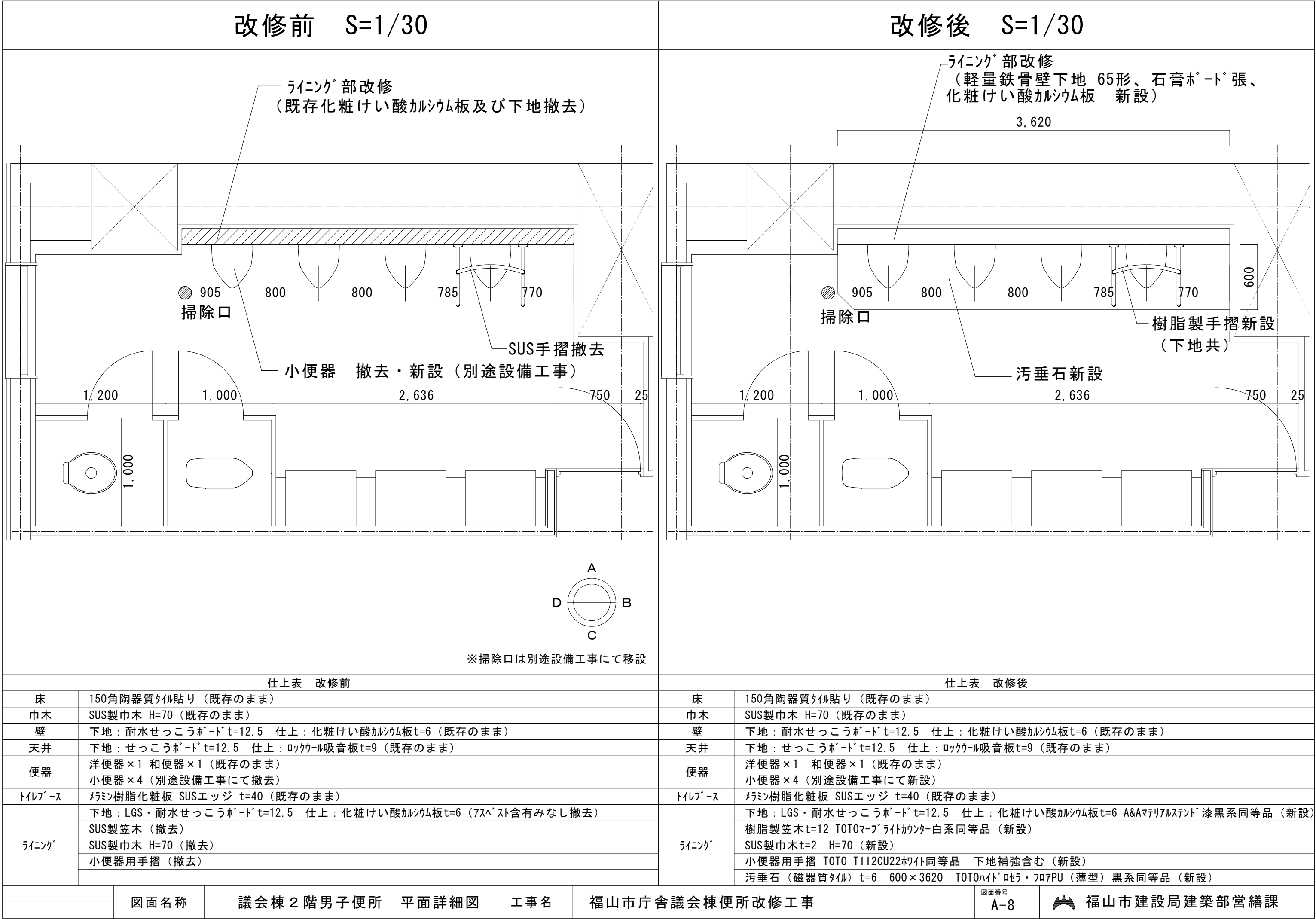
配置図 S=1/500

.....工事範囲を示す。



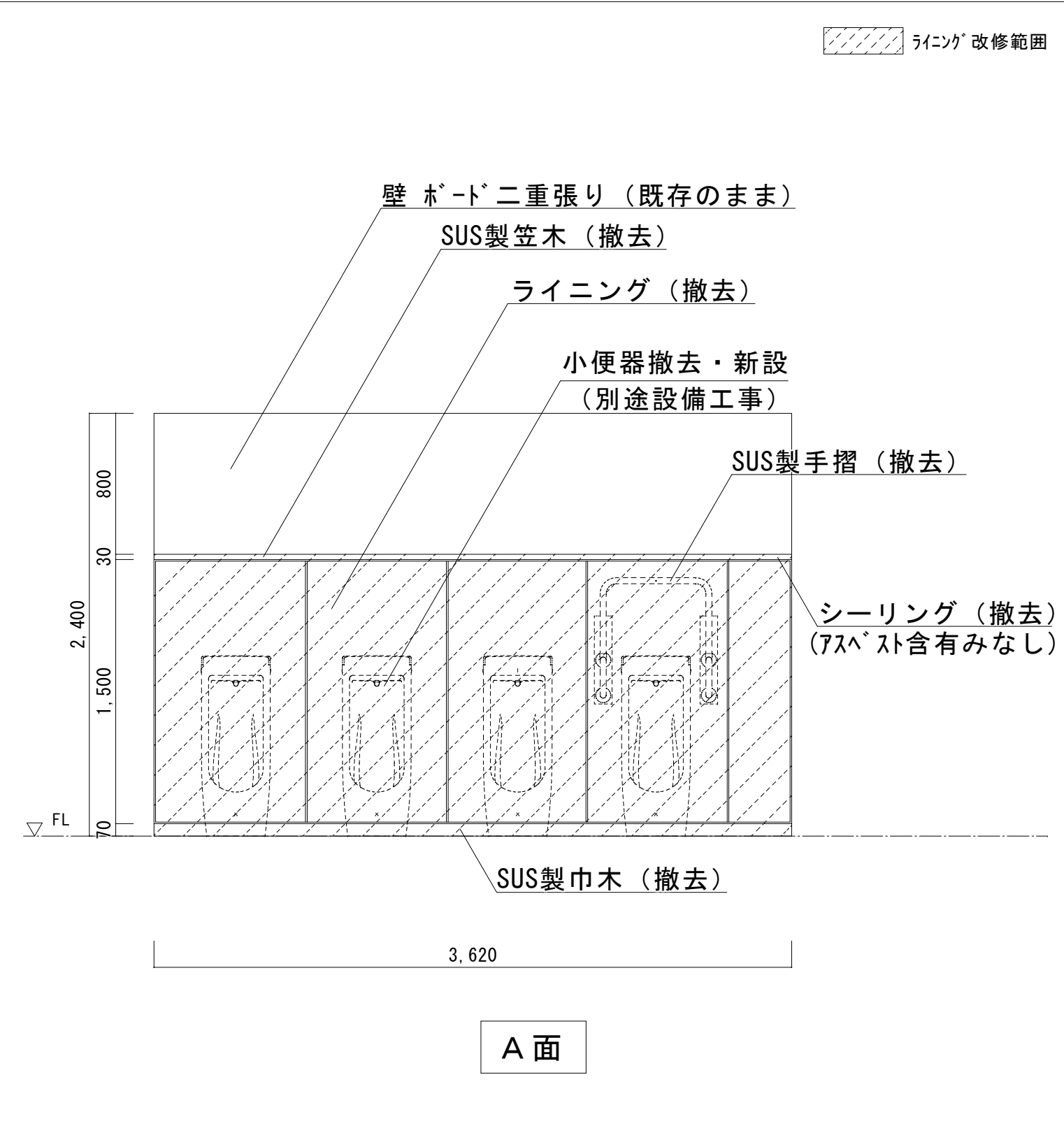
2階平面図 1/400





改修前 S=1/30				改修後 S=1/30			

改修前 S=1/30

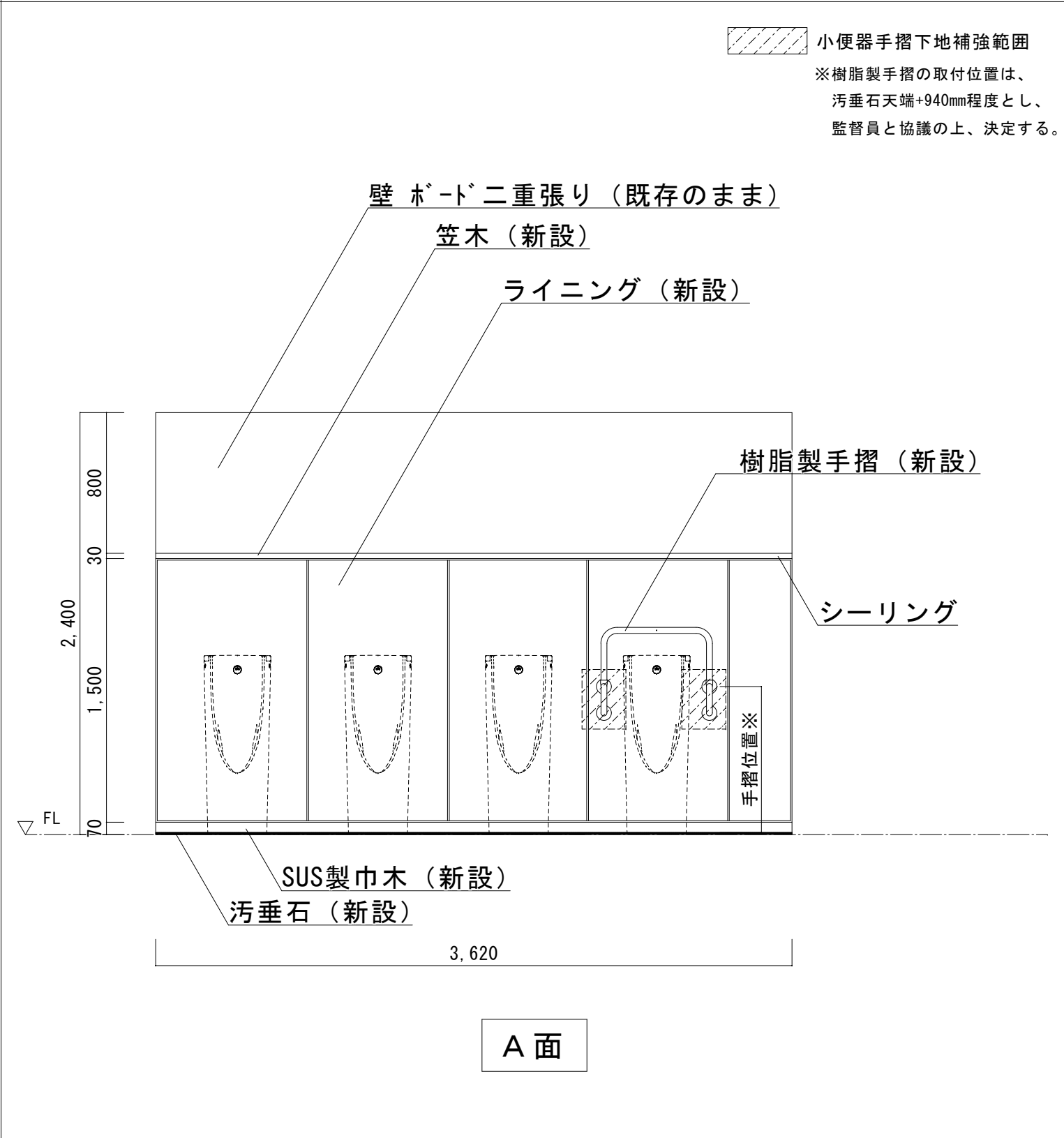


A 面

仕上表 改修前

便器	小便器×4 (別途設備工事にて撤去)
ライニング	下地:LGS 65形・耐水せっこうボードt=12.5 仕上:化粧けい酸カルシウム板t=6 (アスベスト含有みなし撤去)
	SUS製笠木 (撤去)
	SUS製巾木 H=70 (撤去)
	小便器用手摺 (撤去)
壁	下地:耐水せっこうボードt=12.5 仕上:化粧けい酸カルシウム板t=6 (既存のまま)

改修後 S=1/30

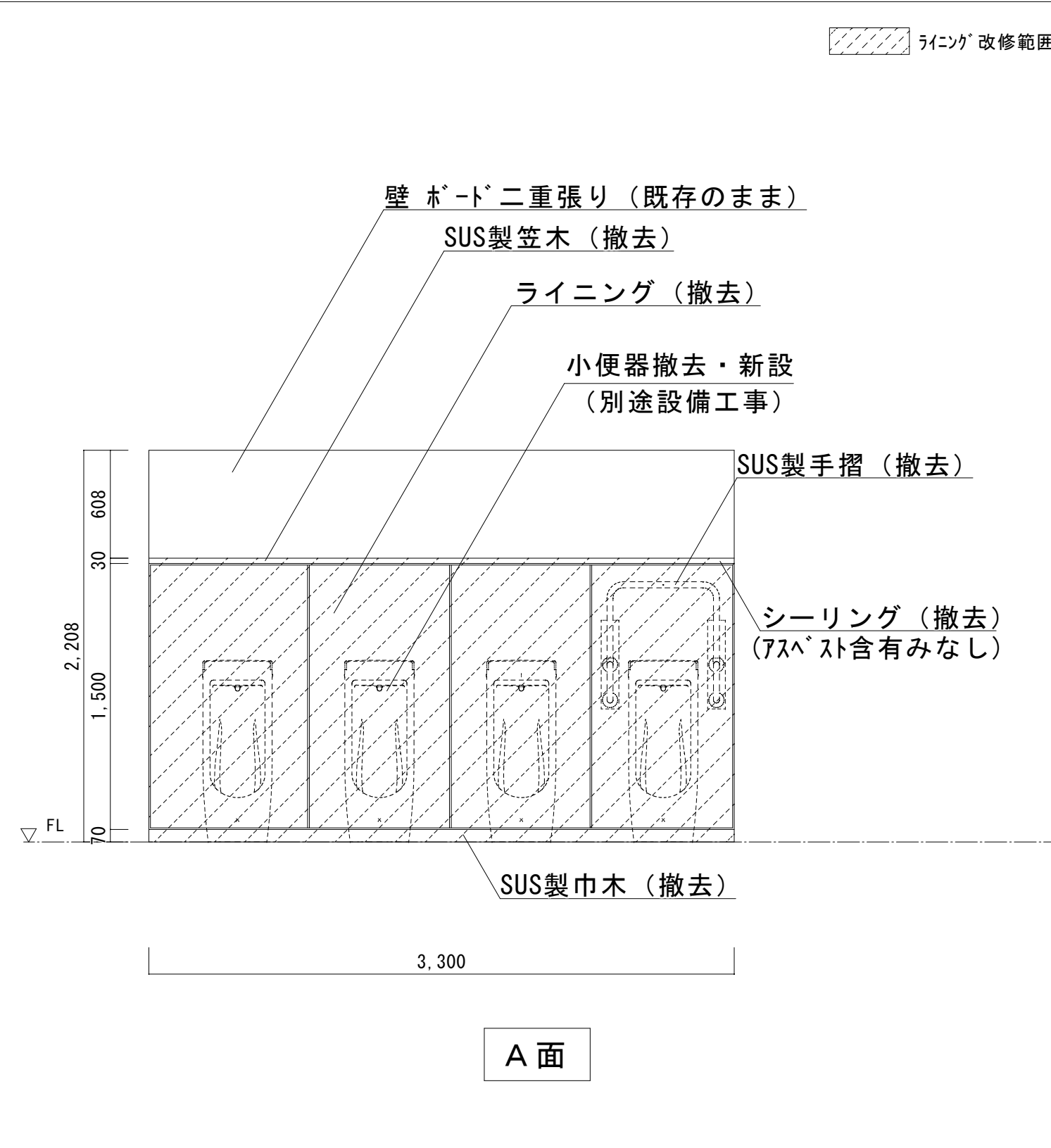


A 面

仕上表 改修後

便器	小便器×4 (別途設備工事にて新設)
ライニング	下地:LGS 65形・耐水せっこうボードt=12.5 仕上:化粧けい酸カルシウム板t=6 A&Aマテリアルステッド 漆黒系同等品 (新設)
	樹脂製笠木t=12 TOTOMマフ ライトカウンター白系同等品 (新設)
	SUS製巾木t=2 H=70 (新設)
	小便器用手摺 TOT0 T112CU22木付同等品 下地補強含む (新設)
壁	汚垂石 (磁器質タイル) t=6 600×3620 TOT0ハイドレタ・フロアPU (薄型) 黒系同等品 (新設)
	下地:耐水せっこうボードt=12.5 仕上:化粧けい酸カルシウム板t=6 (既存のまま)

改修前 S=1/30

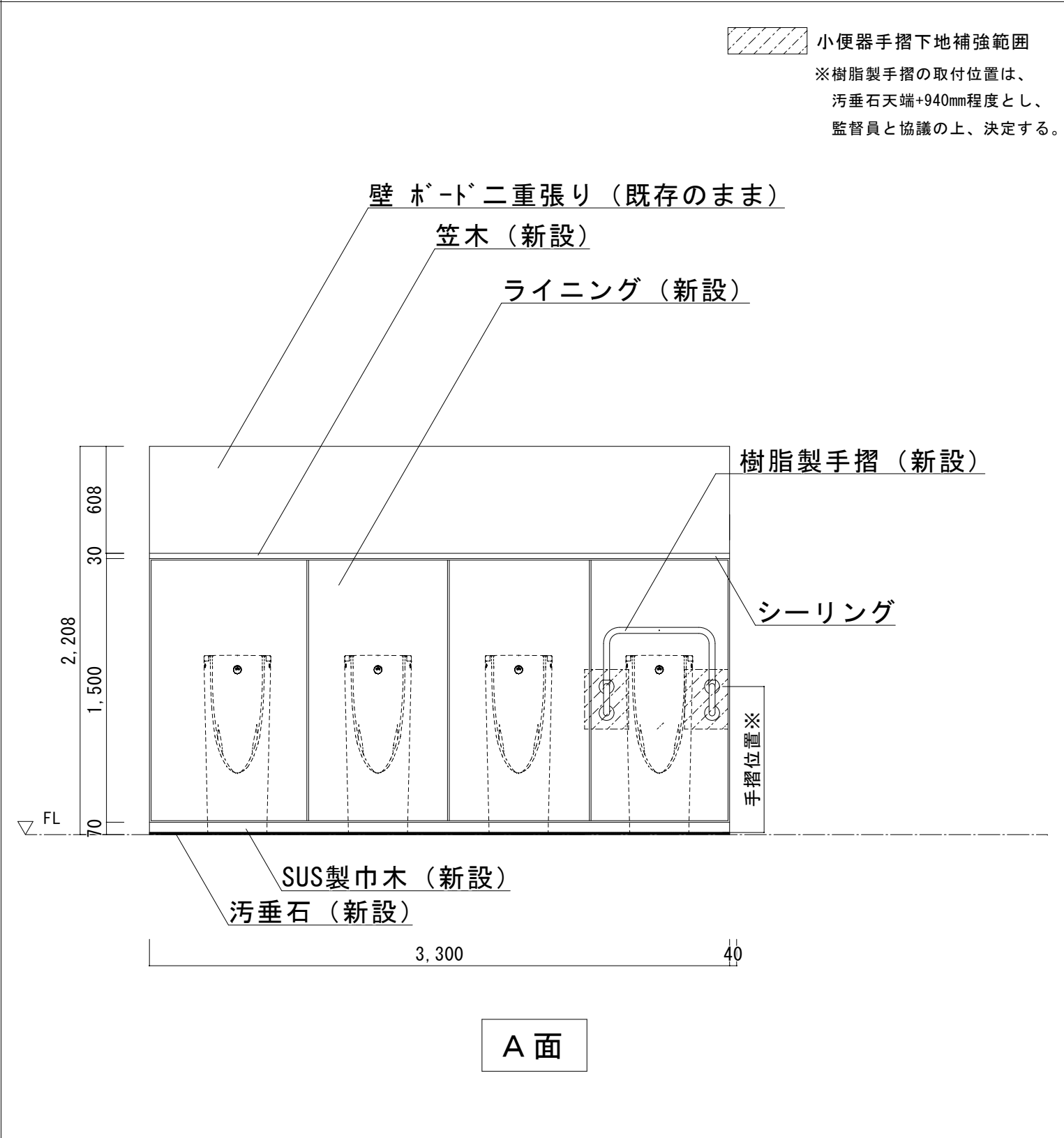


A 面

仕上表 改修前

便器	小便器×4 (別途設備工事にて撤去)
ライニング	下地: LGS 65形・耐水せっこうボード t=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板 t=6 (アスベスト含有みなし撤去)
	SUS製笠木 (撤去)
	SUS製巾木 H=70 (撤去)
	小便器用手摺 (撤去)
壁	下地: 耐水せっこうボード t=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板 t=6 (既存のまま)

改修後 S=1/30



A 面

仕上表 改修後

便器	小便器×4 (別途設備工事にて新設)
ライニング	下地: LGS 65形・耐水せっこうボード t=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板 t=6 A&Aマテリアルステッド 漆黒系同等品 (新設)
	樹脂製笠木 t=12 TOTOMAR-フ ライトカウンター 白系同等品 (新設)
	SUS製巾木 t=2 H=70 (新設)
	小便器用手摺 TOTOT T112CU22ホワイト同等品 下地補強含む (新設)
	汚垂石 (磁器質タイル) t=6 600×3620 TOTOTハイドラ・フロアPU (薄型) 黒系同等品 (新設)
壁	下地: 耐水せっこうボード t=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板 t=6 (既存のまま)

参考数量書

§ 工事名称 福山市庁舎議会棟便所改修工事

§ 工事場所 福山市東桜町 3 番 5 号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市庁舎議会棟便所改修工事

工事場所 福山市東桜町 3 番 5 号

【設計概要】
便所改修工事 一式

- ・議会棟2階男子便所
- ・議会棟3階男子便所

【別途工事】
給排水衛生設備工事
電気設備工事

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

福 山 市

福 山 市

[illegible]

議会棟 3 階男子便所改修工事

[illegible]

福 山 市

議会棟 2 階男子便所改修工事 金属及び内装改修						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
既存手すり撤去	下地共	1	式			
ライニング 笠木撤去	集積共	3.6	m			
ライニング 撤去	化粧けい酸カルシウム板、下地ボード、 軽鉄壁下地 アスベスト含有みなし撤去 集積共	5.8	m ²			
ステンレス幅木撤去	集積共	1	式			
シーリング 撤去	ライニング 部 アスベスト含有みなし撤去 集積共	3.9	m			
ライニング 笠木新設	TOTO MLK1同等品 t=12 d=300 材工共	3.6	m			
ライニング 設置 化粧けい酸カルシウム 板張り	H1,600 軽量鉄骨下地 65形、 耐水石膏ボード t=12 含む 材工共	5.8	m ²			
ステンレス幅木新設	ライニング 部分 巾70 厚2.0 材工共	3.6	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	7.1	m			
汚垂石	TOTO AB690BR同等品 材工共 シーリング 含む 穴あけ、切断、塗装加工含む	1	式			
手すり設置 TOTO T112CU22	小便器 樹脂被覆タイプ、取付金具・ ボルトセット含む 材工共	1	式			
計						

福 山 市

議会棟 3 階男子便所改修工事			金属及び内装改修			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
既存手すり撤去	下地共	1	式			
ライニング 笠木撤去	集積共	3.3	m			
ライニング 撤去	化粧けい酸カルシウム板、下地ボード、 軽鉄壁下地 アスベスト含有みなし撤去 集積共	5.5	m ²			
ステンレス幅木撤去	集積共	1	式			
シーリング 撤去	ライニング部 アスベスト含有みなし撤去 集積共	3.5	m			
ライニング 笠木新設	TOTO MLK1同等品 t=12 d=300 材工共	3.3	m			
ライニング 設置 化粧けい酸カルシウム 板張り	H1,600 軽量鉄骨下地 65形、 耐水石膏ボード t=12 含む 材工共	5.5	m ²			
ステンレス幅木新設	ライニング部分 巾70 厚2.0 材工共	3.3	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	5.1	m			
汚垂石	TOTO AB680BR、AB611BR同等品 材工共 シーリング含む 穴あけ、切断、塗装加工含む	1	式			
手すり設置 TOTO T112CU22	小便器 樹脂被覆タイプ、取付金具・ ボルトセット含む 材工共	1	式			
計						

福 山 市